

オイルクーラキット 取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別オイルクーラキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド №	15004-AN008
取付説明書品番	E04261-N47031-00 Ver.3-3.02
整備要領書品番	A006023(ECR33)/A006029(ER34)
メ ー カ ー 車 種	ニッサン スカイライン ECR33/ER34
エ ン ジ ン 型 式	RB25DET
年 式	ECR33:1993年08月～1998年05月 ER34:1998年05月～2001年05月
備 考	・ ノーマル車及び当社前置きインタークーラ取付車対応。 ・ 新品のオイルフィルタ及エンジンびオイルを用意してください。 ・ M/T車対応,A/T車未確認。 ・ ER34はマイナーチェンジ後車両については未確認。 ・ アダプタサーモAssyに温度センサ用にM12 P=1.25、油圧センサ用にPT1/8のサービスホールがあります。 ・ 温度センサ取付けフィッティングがPT1/8の場合、別途M12-PT1/8変換アダプタ(2面幅17mm)を購入してください。

改訂の記録

改訂№	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2004/11	初版
3-3.02	2005/04	パーツリスト変更

パーツリスト

連番	コード№	品 名	数量	形 状	備 考
1	15006-AK002	オイルクーラコア	1		
2	2599-SA008	アダプタサーモAssy	1		
3	2599-SA009	アタッチメントボルトA	1		3/4-16 UNF
4	15999-AK001	Oリング JASO 3056	1		内径φ55.6
5	15721-230347	オイルクーラスター№1	1		
6	15721-231347	オイルクーラスター№2	1		
7	15721-232347	オイルクーラスター№3	1		
8	G15750-K00280-00	オイルクーラホース№1	1		0° -135cm-90°
9	G15750-K00310-00	オイルクーラホース№2	1		0° -130cm-45°
10		ボルトM6 L=20	3		P=1.0
11		ボルトM8 L=15	3		P=1.25
12		フランジ付きナットM6	1		P=1.0
13		フランジ付きナットM8	3		P=1.25
14		スプリングワッシャM6用	3		
15		スプリングワッシャM8用	3		
16		プレーンワッシャM6用	3		
17		プレーンワッシャM8用	3		
18	15719-077100	スパイラルチューブ	2		D=20 L=1500
19		タイラップ(中)	4		
20		タイラップ(大)	2		
21	93050-002100TP	取扱説明書	1		
22	E04261-N47031-00	取付説明書	1		

1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前に、エンジンオイル、冷却水を準備しバッテリーのマイナス端子を取外してください。
必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行ってください。

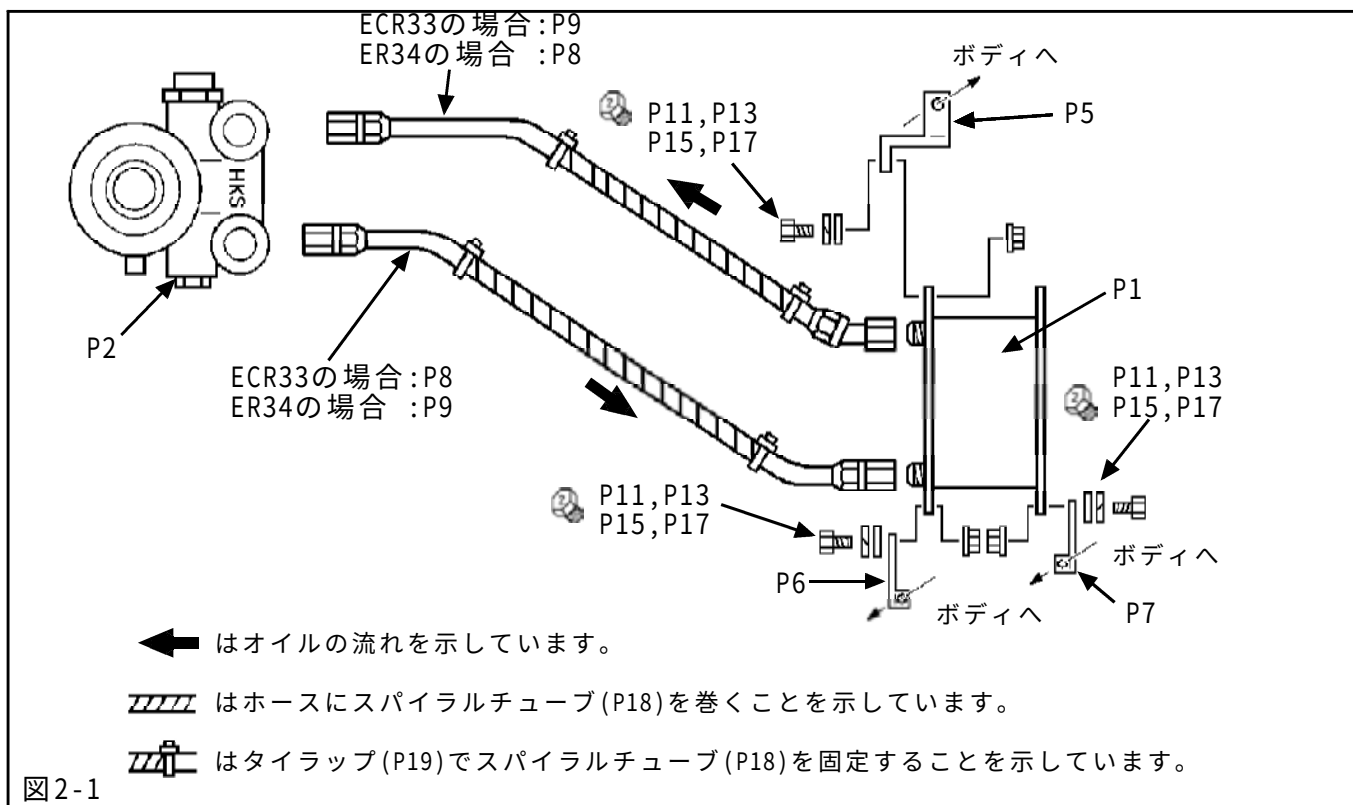
- (1) アンダカバーを取外してください。
- (2) バンパフェイシアを取外してください。
- (3) インタークーラを取外してください。(前置きインタークーラ装着車)
- (4) エンジンオイルを抜いてください。
- (5) オイルフィルタを取外してください。

アドバイス

- ・取外したとき、オイルがこぼれますので、ウエス・受け皿等を用意してください。

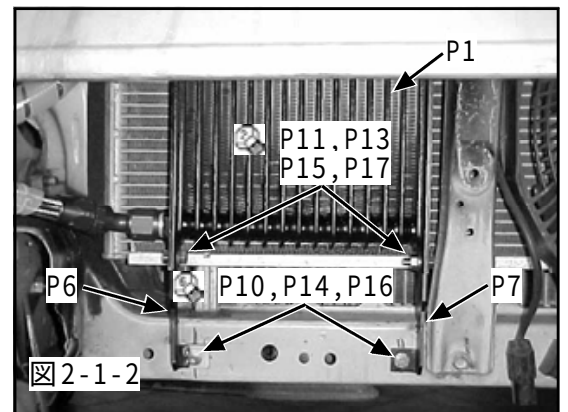
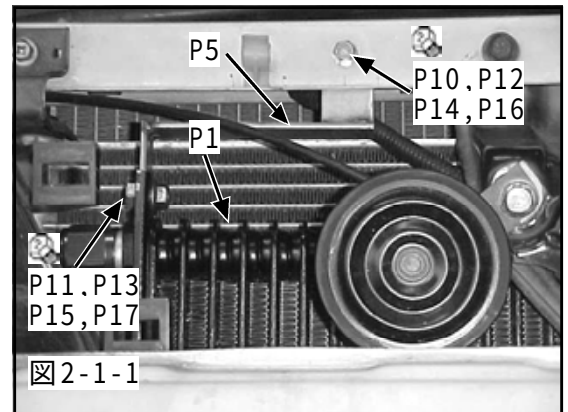
2. キットパーツ取付け

- ・キット内パーツ (オイルクーラコア, アタッチメントボルト, オイルクーラホース, アダプタサーモAssyのシール面, ネジ部, テーパー部) に、キズや異物の混入がないことを確認してください。



2-1. オイルクーラコアの取付け

- (1) ボルトM8 L=15, フランジ付きナットM8, スプリングワッシャM8用, プレーンワッシャM8用を使用して、オイルクーラステア№1, オイルクーラステア№2, オイルクーラステア№3をオイルクーラコアに仮付けしてください。
(P1×1, P5×1, P6×1, P7×1, P11×3, P13×3, P15×3, P17×3) (図2-1)
- (2) ボルトM6 L=20, フランジ付きナットM6, スプリングワッシャM6用, プレーンワッシャM6用を使用して、オイルクーラステア№1を車両に仮付けしてください。
(P10×1, P12×1, P14×1, P16×1) (図2-1, 図2-1-1)
- (3) ボルトM6 L=20, スプリングワッシャM6用, プレーンワッシャM6用を使用して、オイルクーラステア№2, オイルクーラステア№3を車両に仮付けしてください。
(P10×2, P14×2, P16×2) (図2-1, 図2-1-2)
- (4) 仮付けしたボルト類を本締めしてください。



⚠ 注 意

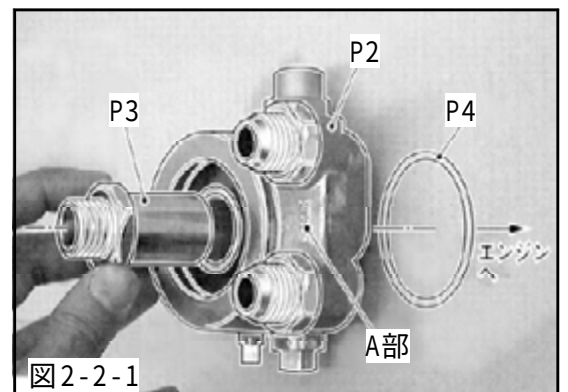
- オイルクーラコアを車両に取付ける際、無理な力が加わらないように取付けてください。振動等によりオイルクーラコアが破損する恐れがあります。

2-2. アダプタサーモAssyの取付け

- (1) OリングJASO 3056にエンジンオイルを薄く塗布してください。(P4×1)
- (2) アダプタサーモAssyの内側の溝にOリングJASO 3056を組付けてください。(P2×1) (図2-1, 図2-2-1)
- (3) アタッチメントボルトAを使用して、アダプタサーモAssyをエンジンのオイルフィルタ取付け部に取り付けてください。
この際、図中A部がエンジン前方になるように仮付けしてください。(P3×1) (図2-2-1)

アドバイス

- ・ホースの位置決め, アダプタサーモの位置決めは次項で行いますのでここでは本締めはせず、仮付けにしておいてください。



2-3. オイルクーラホースの取付け

(1) スパイラルチューブをオイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2に巻付け、タイラップ(中)で固定してください。
(P8×1, P9×1, P18×2, P19) (図2-1, 図2-3-1, 図2-3-2)

(2) オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2をオイルクーラコア, アダプタサーモAssyにそれぞれ仮付けしてください。(図2-1, 図2-3-1, 図2-3-2)

アドバイス

- ・オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2を図のように配管してください。
 - ・ ECR33 図2-3-1を参照
 - ・ ER34 図2-3-2を参照

(3) オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2が各部と干渉しないようにアダプタサーモAssyの位置を調整し、アタッチメントボルトを本締めしてください。

締付けトルク N・m(kgf・m)

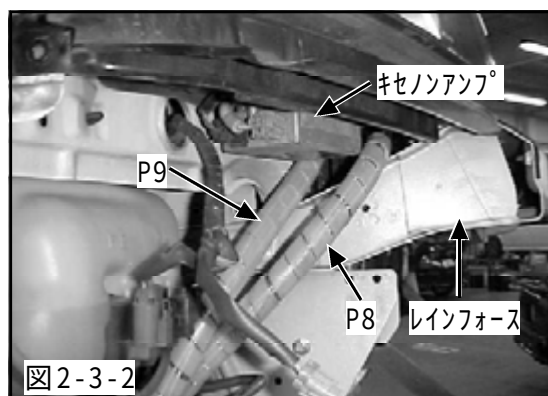
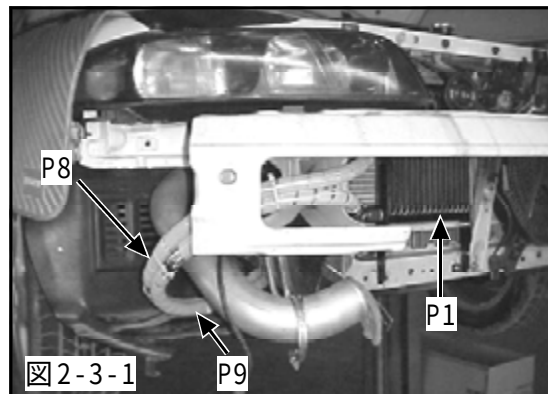
T=14.7~20.6(1.5~2.0)

(4) 仮付けしたホースを本締めしてください。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=14.7~17.6(1.5~1.8)

(5) オイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2をタイラップ(大)で束ねて各部との干渉がないようにしてください。(P20)

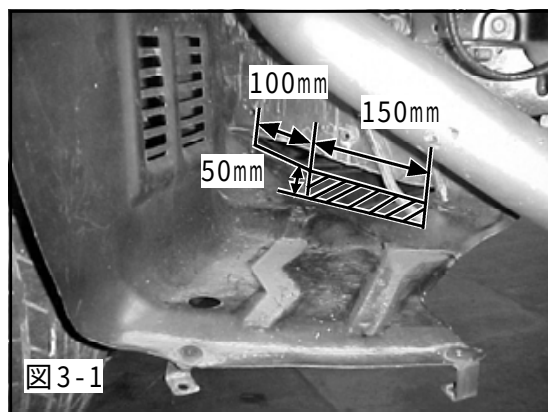


⚠ 注意

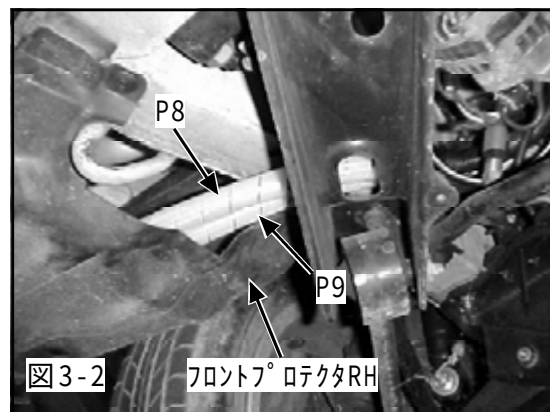
- ホース接続方向に間違いがないか確認してください。(図2-1)
IN/OUTの配管ミスは、エレメントの破損・エンジンの焼付き等の事故になります。
- オイルクーラホースのフィッティングにシールテープを使用しないでください。
テープがエンジン内部に混入し、エンジンが破損する恐れがあります。

3. フロントプロテクタ加工

(1) フロントプロテクタRHとオイルクーラホース№1, オイルクーラホース№2とが干渉しないように図の斜線部を切取ってください。(図3-1)



(2) フロントプロテクタRHを取付けてください。(図3-2)



4. ノーマルパーツ取付け

(1) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。

(2) バンパフェイシアを取付けてください。

(3) アンダカバーを取付けてください。

(4) エンジンオイルを入れてください。

アドバイス

- ・ H K S 製エンジンオイルのご使用をお薦めいたします。

(5) エンジンを始動し暖気後(油温75℃以上)に以下の確認を行なってください。

- ・ オイルもれがないこと
- ・ オイルクーラホースがボディ, ハーネス等に干渉していないこと

※取付け作業終了後、必ず取扱説明書の「取付後の確認」に従って確認作業を行なってください。